

## 「Business Analysis Workshop 参加報告書」

京都大学経済学部・研究科4年 M.M.

### ①プログラム内容

今回のプログラムは、国立台湾大学で行われる **Business Analysis Workshop** です。これは、日本と台湾の各大学が集まり、会計学を中心のテーマに研究した内容を発表するものです。私の所属する京都大学・徳賀芳弘ゼミでは、毎年4年生が卒業発表を兼ねてこのプログラムに参加することになっています。

発表日前日は、午後から現地の学生と合流し、台北北部の観光に連れて行っていただきました。台湾の学生は親日な人が多く日本の文化についてなどたくさんお話しすることができました。

発表当日は、京都大学、台湾国立大学、早稲田大学の6グループ、6か国以上出身の学生が参加し、前日とは打って変わって会計分析についての議論を戦わせました。私たちのグループにも現地の学生から2, 3質問がき、お互いの意見を交換する良い経験ができたと考えています。また、プレゼンテーションの時間以外も、キャンパスツアーや台湾料理のランチタイム・ティーブレイク等、現地の文化・教育を理解する場をつくってください他大学の学生と仲を深めることができました。

### ②学習成果

今回のプログラムで一番印象に残ったのは、現地学生の積極性です。観光案内時の会話やディスカッション中の質問など、日本人学生と比べ圧倒的にフレンドリーで積極的に参加していました。私たち日本人学生も、最初は戸惑う人が多かったように感じますが、プログラム後半には慣れていき、発表後の懇親会ではかなり親密にお話しできるようになったと考えています。

国際交流は、慣れていないとみずからハードルを上げてしまいがちですが、より気軽に話せるようになる度胸がついてように感じました。

### ③進路への影響について

新卒のキャリアは、政府の金融機関にすでに決まっています。ただ、当機関は国際金融に深いつながりがあり、社会人留学の選択肢もあることから海外との接点は多いです。このような点を考えた際、今回の留学は、世界金融に目を向けグローバルに活躍する一助となるのではないかと考えています。

現地の学生のキャリアは、国内外問わず多岐にわたっており、私自身もより身近な選択肢として海外勤務・経験を積んでいきたいと考えるきっかけとなりました。